

情報公開用文書

西暦 2019 年 7 月 16 日作成

研究課題名	新規卵巣がん血清腫瘍マーカーFully-sialylated alpha-chain of complement 4-binding protein(FS-C4BP)及び FS-C4BP 測定時に得られる糖ペプチドピークデータを用いた Comprehensive Serum Glycopeptide Spectra Analysis(CSGSA)値の有用性検討
研究の対象	卵巣癌の疑いあるいは婦人科良性疾患で手術を受ける患者さん、健常人女性から血液の提供を頂きます。なお、貴学からは健常人血清のみ提供を頂きます。
研究目的 ・方法	<p>がん治療にとって一番大切なことは早期に癌を発見することですが、卵巣がんは早期発見が難しくとても予後の悪い疾患です。その理由は、現在のところ検診方法が確立されていないことです。卵巣がんの腫瘍マーカー（がんが分泌する物質で癌の進行に合致する血液中の物質）として広く汎用されている CA125 にも早期発見のために用いられるだけの力はありません。CA125 は 1981 年に発見されましたが、その CA125 を凌駕する腫瘍マーカーは 35 年近くを経てなお現在も同定されていません。私たちは、長年に渡る研究から、卵巣がんの一種類である明細胞腺癌とその前がん病変である内膜症性嚢胞との鑑別において、CA125 を凌駕するマーカーFS-C4BP を発見同定しました。同時に、FS-C4BP 測定時に得られる糖ペプチドピークデータを用いた Comprehensive Serum Glycopeptide Spectra Analysis (CSGSA) 値が卵巣癌の患者と良性婦人科疾患の患者さんを判別できる可能性を見出しました。そこで本研究では「新規卵巣がん血清腫瘍マーカーFully-sialylated alpha-chain of complement 4-binding protein (FS-C4BP) 及び FS-C4BP 測定時に得られる糖ペプチドピークデータを用いた Comprehensive Serum Glycopeptide Spectra Analysis (CSGSA) 値の卵巣癌早期診断における有用性の検討（卵巣癌は早期に発見できるか?）」を行います。</p> <p>この臨床研究では、卵巣癌の疑いあるいは婦人科良性疾患で手術を受ける患者さん、健常人女性から血液の提供を頂きます。そして血液中の FS-C4BP 及び CSGSA 値を含むいくつかの腫瘍マーカーを測定させていただき、同時にあなたの診療記録を調査させていただき、FS-C4BP 及び CSGSA 値の卵巣がんにおける診断能力の有用性を解析します。</p>
研究期間	2019 年 7 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	○血液（年齢、性別、試料採取日、感染症情報） ○診療情報（人種、年齢、BMI、初潮年齢、経妊数、経産数、不妊治療有無、ピル服用有無、閉経前後、合併症、病理組織学的診断、組織学的異型度、FIGO 進行期、CA125 値、HE4 値など）
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：	